

User's Voice

週3回利用でコミュニケーション能力が大幅に向上



地球社会共生学部地球社会共生学科

2年生 三浦 萌恵さん

C Chat Room

U User

- C** 三浦さんは、以前『外資系企業で働いてみたい』とおっしゃっていましたよね。仕事で英語を使う事に抵抗がある人も多いと思うのですが、むしろたくさん使ってみたいですか？
- U** はい。小学生の頃から英会話を習っていた事もあり、英語が好きなんです。外資系で求められる語学レベルは高いので、今のうちから英会話力を上げるため週に3～4回のペースでチャットルームに通っています。
- C** アルバイト先にも外国のお客様が多くいらっしゃるとお伺いしました。チャットルームに通うようになって、接客時の英語に変化はありましたか？
- U** 以前は単語をただ並べる会話をしてしまう時もありましたが、今は【日本語→英語】と頭の中で訳さなくてもぽっとフレーズが出てくるようになりました。限られた時間で多くの接客をしなければいけないのですが、最近はとてもスムーズに英語の接客もできるようになりました。
- C** お仕事以外の場面でも、英語力に変化は感じますか？
- U** Netflixなどでよく映画を見るのですが、理解できるセリフが増えました。チャットルームで教えてもらったり勉強したフレーズが出てくると「この会話したなー！」とすぐ思い出します。
- C** 今期はずっとオンラインでの受講でしたが、オンラインならではの会話の難しさはありましたか？
- U** 日本語のコミュニケーションでも同じだと思うのですが、相槌などしっかりとリアクションをしないと「分かっていない」と相手が勘違いしてしまうので、表情なども工夫しました。これは難しさもありましたが、オンラインのおかげでコミュニケーション力全般も鍛えられたと思います。
- C** チャットルームを利用するようになってから、新しい目標などはできましたか？
- U** 実は来年から、留学生のチューターになります！チャットルームで英語を使っていると、「留学生が困った時は英語で力になりたい」と思うようになりました。チューターとして立派に働く事が今の身近な目標です。
- C** 自分のためだけでなく、人のために英語力を使うという目標は大変素晴らしいですね！では、チャットルームに来ようか迷っている方に、何かメッセージはありますか？
- U** 『迷っているなら絶対来るべき！』です。私は『行動力』をととても大切にしています。ちょっとでもやってみたいと思うなら、ぜひトライしてみてください。

User's Voice

将来は海外の大学院に行ってみたい！



法学部法学科

4年生 原 友莉恵さん

C Chat Room

U User

C 今年はほぼ毎日チャットルームに通って下さっていますね！でも通い始めたのは3年生の冬からだとか？

U 実は、チャットルームを誤解をしまして……。チャットルームの存在は1年生の頃から知っていましたが、『英語が話せる人しか行けない場所だ』と勘違いしていて、敷居が高かったんです。

C それはこちらのPR不足でした！どうやってその敷居を乗り越えたんですか？

U 自分のゴールを見据え、「間違いを恐れては上達しない」と自分に言い聞かせたんです。

C 間違える事で覚えられますものね。原さんはどんなゴールをお持ちですか？

U 英語でディスカッションできるレベルになる事です。将来は海外の大学院にも行ってみたいと思っています。

C 原さんは既にディスカッションができるレベルに達していますよ！チャットルームでは自分の意見を話したりする機会も多いですが、実際に来るようになってどんな変化がありましたか？

U 毎回違ったメンバーとチャットリーダーと英語で話すので、参加するには「できない」事を気にしてられません。「知らない人と話すのに抵抗がある」という昔の自分を脱却できました。今はどんな人とでも物怖じせず話す事ができます。

C それは良かったです！今期は日本人のバイリンガルチャットリーダーもセッションを担当していましたが、どんな印象をお持ちですか？

U 海外経験が豊富な方達ですし、自分が話しやすい雰囲気や質問を投げかけてくれて、楽しいセッションを提供してくれて感謝しています。「私もあんな風に自然に英語が話せるようになりたい。もしそんな時が来たらどんな気分なのかな？」という思いがチャットルームに来る原動力となり、モチベーションアップにもつながっています。

C そうおっしゃって頂けるとチャットリーダー達もとても喜びます。実はチャットリーダー自身も、皆さんと話す事で多くを学んでいるんですよ。では、最後にチャットルームに来る事をためらっていた昔の自分に声を掛けるとしたら、どんな事を伝えてあげますか？

U 「そんなステレオタイプに考えなくていいよ」と言ってあげたいです(笑)。チャットルームはとてもアットホームで、行きにくいイメージを自分が勝手に作っていました。迷っている方がいれば、まず行ってみてチャットルームやチャットリーダーの雰囲気を知ってみると良いと思います！

User's Voice

チャットルームを活用して交換留学生試験に合格



経営学部経営学科

1年生 内藤 徳大 さん

C Chat Room

U User

C

冬休み明けで、今日は久々のセッションでしたね。いかがでしたか？

U

ここ2週間英語を話す機会が全くなくて、久しぶりにセッションを受けたら全然話せなくてあざんとしました！たった2週間話さないだけで、こんなにガクンと落ちるものかと。

C

客観的に見ると上手にお話されていましたが、毎日セッションを受講しているからこそ「いつもと違う！」と違和感に気づけたのでしょうか。ところで、内藤さんはスコットランドへの交換留学選抜試験に見事合格されたのですよね！おめでとうございます。英語の面接は大変でしたか？

U

面接官は教授も含めた日本人3名で、予想できない質問もされたので多少戸惑いましたが、チャットルームで自分の意見を話す練習を毎日していたので、緊張はしませんでした。

C

大人に囲まれた英語の面接で緊張しないとは、さすがです！

U

むしろ日本語だと畏まって緊張してしまうんですが、英語だとフランクに話せる感じがしました。面接が始まると、英語モードのスイッチが入りました。

C

そんな内藤さんも、最初チャットルームに来た時は緊張していたとか。どの位で慣れましたか？

U

2週間位です。今ではチャットルームのオンラインイベントにも積極的に参加しています。先日は、米カリフォルニア州の高校生と話すイベントにも参加しました。

C

それは良かったです。スピーキング力も確実に上がっていますよね。

U

はい。チャットルームに来た最初の目的は、留学に備えて英語のデリバリースキルを上げる事でした。でも毎日30分知らない人とオンラインで会話する事で、「その人の話をしっかり聞いて質問を考える」というコミュニケーション力もしっかりと身に付いてきたと思います。

C

留学まであと半年ですね。スコットランドでどんな留学生活を送りたいですか？

U

ヨーロッパの労働環境を調査したいと思っています。留学は半年間なので、帰国したらゼミで日本の労働環境と比較をした論文を書いてみたいです。それから、現地のスラングもマスターしたいと思います！

User's Voice

英語はツール。それを使って何ができるか考えています！



経済学部経済学科

1年生 川住 啓人さん

C Chat Room

U User

C 今日のチャットトピックは"Food"でした。料理法を英語で言うのは結構難しいんですが、オムライスや焼きそばの作り方を上手に説明されていましたね。川住さんは海外の長期滞在経験もないのに、どうしてそんなに流暢に話せるんですか？

U 意識的に英語を話す環境を作っています。コロナでチャットルームもオンラインセッションに切り替わったので、時間がある時は青山キャンパスで1セッション、相模原キャンパスで1セッション受けています。あとは、海外の友人とほぼ毎日Skypeなどで話をしています。トータルで毎日3時間位英語を話していると思います。

C 「環境は自分で作る事ができる」という良い見本ですね！オンラインで会話する上で、何か気を付けている事はありますか？

U ガジェットが好きなので、高性能のマイク(画像右下)やカメラを揃えて、自分も相手も快適に会話ができるようにしています。

C 相手の事も考えるのは、コミュニケーションでもとても大事なポイントですよ。環境を整えるのに加えて、デリバリースキルやリスニングを上げるために、どんな事を実践しているのでしょうか？

U 単語に力を入れています。極端な話、単語を並べれば会話はできますので。そして一番大切なのは「間違えないようにする」事ではなく、「伝えたい」という気持ちだと思います。出川哲郎さんもジェスチャーを使いながらきちんと意思を伝えていますよね。リスニングに関しては、Podcastにあるチャンネルの1つ『台本なし英会話レッスン』を高校時代から通学中に聞いていました。これを聞いていると、次第に海外のYoutubeも理解できるようになりました。リスニングを上げるには半年位集中して英語を聞くのが有効だと思います。実は文法は大嫌いなんです。でも何とか話せるので、やはり会話は【単語】と【実践】だと思います。

C 川住さんが文法が嫌いと聞いて、ちょっと安心しました(笑)！では、チャットルームで磨きをかけている英会話力を使って、将来はどんな事に挑戦してみたいですか？

U 「英語が話せるようになる事」はゴールではなく、私にとって英語は「ツール」です。英語を使って、「何が」できるのかを常に考えています。将来は海外に係る仕事をしてみたいですし、海外就職にも興味があります。